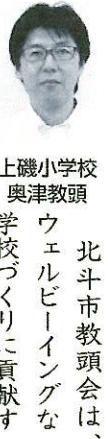


北斗市教頭会のご紹介

(会長あいさつ)



上磯小学校
奥津教頭

北斗市教頭会は、

「ウェルビーリング」は、「自分的心

や体の健康だけではなく、家族や友人、
自分の住む街・国など周りのこととも含め
て持続的に良い状態であること」という
意味です。

学校現場では、今まで児童生徒の幸せ
を願うことが中心となっていました。しかし、
「ウェルビーリング」の視点から考え
ると、児童生徒はもちろん、教職員も幸
せや生きがいを感じるとともに、地域
や社会が幸せや豊かさを感じられるよう
にしていく必要があります。

ウェルビーリングな学校づくりを目指
し、教頭会として微力ながら精一杯の知
恵と行動力を発揮してまいります。地域
の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろ
しくお願いいたします。

(各プロジェクトの紹介)

北斗市教頭会では、北斗市教育委員会
や北斗市校長会と連携し、「授業改善」
「地域連携」「外国语」「不登校対策」
の4つのプロジェクトチームを組織し、
具体的な方策を検討、具現化できるよう取
組を進めています。

教頭
長島
幹伸

北斗市教頭会は、今後も教職員、保護
者、地域の方、関係諸機関等との連携を
通じ、「やりがい」をもつて教育活動を
推進していきます。すべてはこれからの一
歩を担う北斗市の児童生徒のために。

(北斗市教頭会 萩野小学校)

【不登校対策】



左から
大西教頭（石別小）
加藤教頭（大野中）

不登校の実態や各校の取組などの情報共有を図り、児童生徒の居場所づくりや学びの保障を充実できるよう取り組みを進めます。

【外国语】



左から
佐藤教頭（島川小）
中村教頭（谷川小）
岩本教頭（石別中）

外国语教育推進プランの策定や外国语の授業改善など国際理解を注視した教育活動推進に向け取り組みます。

【地域連携】



左から
小寺教頭（市渡小）
伊多波教頭（浜分小）
畠教頭（上磯中）

地域と学校が一体となった学校づくりを目指し、小中連携など9年間を見通した教育活動を推進していきます。

【授業改善】



左から
桃井教頭（久根別小）
星野教頭（茂辺地小中）
工藤教頭（浜分中）
今村教頭（大野小）

児童生徒の学力向上に向けて、教師の授業改善を進めため、研修会や視察を企画・運営します。

感染症予防の三原則

近年、季節を問わず様々な感染症が流行
しています。これらの感染症を予防す
るには「三つの原則」を守ることが大切
です。今回は、「学校や家庭でできる感
染症予防の三原則」についてお知らせし
ます。

① 感染源の排除

感染源となる病原体、病原
微生物（ウイルス、細菌、真
菌、カビ）は汚れた場所、嘔吐物、便、



よく手が触れる箇所、感染者、発症者に
存在します。それらには近づかない、触
らない、洗浄・消毒するなどの対処方法

があります。

② 感染経路の遮断

空気感染や飛沫感
染、接触感染など、
病原体が体内に侵入
する経路を遮断する



ことが大事です。手洗い、手指消毒、マ
スクの着用、換気、咳エチケットの実践
などの対処方法があります。

※病原体を「持ち込まない・持ち出さ
ない・拡げない」ようにしましょう。

③ 個々の抵抗力を高める

普段の健康管理により、早期発見につ
ながります。また、抵抗力によって、感
染しても病原体そのものを排除し、増殖
を抑え、発症しても重症化にくくなり
ます。

感染症を100%予防することは困難

ですが、感染した際に発症させないこと
や重症化させないことが重要です。

※予防接種、ストレス

の解消、休息、体力づく
りなどの対処方法があり
ます。



※十分な栄養と睡眠をとるなど基本的
な生活習慣を心掛けましょう。

(参考：「感染症の基礎知識」(GME
医学検査研究所))

(北斗市学校保健会
島川小学校 養護教諭 石川 路香)